



☆☆ニュースレター☆☆

第150号
発行日:2017. 7. 21
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している
正会員および賛助会員ほか当団体が了承
した希望者に、随時配信しております。
配信中止を希望のかたは右記までご連絡
ください。

NPO 法人・クライネスサービス
会 長 : 稲垣 正彦
発行責任者: 事務局長・桑原 正明
千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2
npo-kleines-463@catv296.ne.jp
TEL/FAX: 043-463-1337
<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>

第150号 特別号

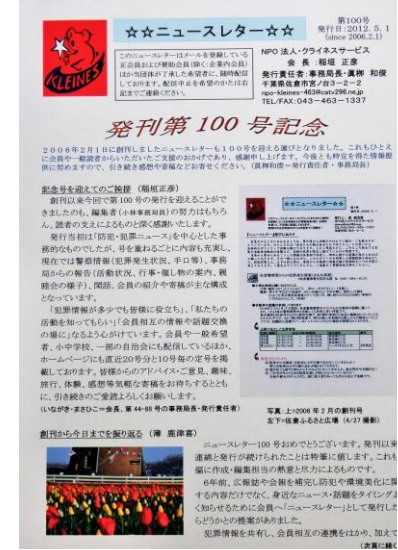
《ニュースレター150号発行に寄せて》 稲垣正彦

2006年2月創刊以来、今回で第150号の発行を迎えることができました。11年以上にわたって、作成・編集にご尽力いただいた事務局員小林さんの熱意と努力のお蔭と心より謝意を表します。また会員の皆様には貴重なアドバイスと共に情報の提供や寄稿文をお寄せいただく等、支えていただいたことに御礼申し上げます。

発行当初は「防犯・犯罪ニュース」を中心とした事務的なものでしたが、4号からは写真を、6号からは軽妙な筆致の「閑話」を掲載と、より親しみのある紙面作りを心掛けてまいりました。10号からは会長名並びに発行責任者として事務局長名を表記するようになりました。号を重ねるごとに内容も充実し、現在では警察情報(犯罪発生状況・手口等)、事務局からの報告(活動状況・行事・催し物の案内・親睦会の様子)、「閑話」、会員からの投・寄稿、会員の紹介等盛りだくさんになっています。随時掲載される会員からの寄稿文では、その方の知られざる一面をうかがい知ることができ、会員同士の親近感が一層深まっているのではと思います。

時にはクスリとほほ笑む「川柳」が掲載され、心が和みます。次号はどんな内容かなとニュースレターを心待ちにしておられる方も多いのではないのでしょうか。

「犯罪情報が多少でも皆様に役立つ」「私たちの活動を知ってもらい」「会員相互の情報や話題交換の場」になるよう今後も心掛けていきます。会員以外にも一般希望者、小中学校、一部の自治会、それに定期総会に臨席される来賓の方にも配布できるシステム



で、私たちクライネスサービスをより知っていただく一助となっています。またホームページにも掲載しております。皆様からのアドバイス・ご意見、趣味・旅行・体験談・感想文等の気軽な寄稿をお待ちするとともに、引き続きご愛読のほどよろしくお願ひします。

(会長 いながき・まさひこ)

写真左: 発行第100号記念号(2012年5月1日発行)1頁目(中程右は創刊号の写真 写真右: 左上は薄元事務局長

(次ページへ続く)



*新入会員

正会員 「XX XX」(ユーカー地区在住・7月13日入会)

(事務局補足) 本人の希望により名前は伏せますが、大学一年生で、さっそく7月15日の清掃活動から参加を開始しました。役員のアさん曰く

『これで会員の平均年齢が一気に下がりそう!』。

今後とも新規の入会が望まれます。

会員投寄稿 -42- 『日々の暮らしのなかで…』 藤井トシ子

雨がほとんど降らない今年のから梅雨。作物も水不足の中、我が家の小さな畑ではたくさんの野菜たちが花を咲かせ、必死に輝きながら成長している。

太陽の日差しが照りつける日中の畑仕事は控えて、早朝に草抜きを開始する。朝露にぬれてつややかな野菜たち、つい「おいしくな〜れ」と声かけをする。作業の途中疲れを癒やしてくれるのが、朝の清々



しい空気や鳥の声、そして畑の野菜の可憐な花々、よく見ると意外な美しさに気づく。背の高いトウモロコシのてっぺんに付くのは雄花、地べたを



這うように広がるスイカやカボチャ、星がたの黄色い花びらが反り返って咲くト

マトの花、紫色の鮮やかで上品ななすの花、ピーマンの花は真っ白だ。そして大柄なおくらの花は本当に美しく花も実も楽しめる。拳ほどもある茎のてっぺんに固まって付くネギ坊主、キュウリやスイカは初めから小さな実がある。なんて可愛いんでしょう。思わず笑みがうかぶ。

早朝の畑仕事が終了。きれいになった畑を見ると本当に気持ちが良い。取れたての野菜が朝の食卓に並ぶのは自分へのごほうび。なんて贅沢なことでしょう。野菜を作ることができる喜び、収穫の楽しみ、今日一日元気で過ごせますようにと、何気ない日々の暮らしに感謝する毎日です。(7/17 記)

(編集後記)

振り返れば創刊したのは十一年前、会長が岡野重秋さんの頃でした。警察から寄せられる犯罪情報などを素早く会員にお知らせし、併せて会員からの投稿を通して仲間の情報交換の場になればと始めたものです。

当時の事務局長・薄鹿津喜さんからは第八十八号まで五年の長きに亘り校正や内容にまで貴重なアドバイスをまた八十九号から現在までは稲垣会長に誤字修正、文章の使い方などで指導を受けながら発行を継続しています。

これまでに二十数名から紀行や趣味などに関する投稿文をいただきました。まだ『ニュースレター』に未登場の会員にも何か一つ書いていただければと願っています。書くのが苦手と仰らず自由な題で、結構です。旅先で感動したこと、お孫さんのこと、自分がこだわっている趣味のこと等々気軽にお寄せください。またその際は関連の写真を添付していただければ幸いです。

なお、発行済み号はほぼホームページで随時閲覧が可能です。

これまでのご協力、ご愛読に感謝申し上げます。

事務局

編集担当・小林弘司